

## 32 万葉歌碑

文化



### 【推薦コメント】

- 万葉集巻第14-3373東歌「多摩川に 曝（さら）す手作り さらにさらに なにそこの児のここだ愛（かな）しき」 歌碑

- 寛政の改革で有名な松平定信の筆による

- 東京文化財ウィークに指定されている狛江市の文化史の中で貴重なもの

### 【講評】

万葉歌碑は、最初文化2年（1805年）に猪方村内に建てられ、文政12年（1829年）に多摩川の洪水で流出しましたが、旧碑の拓本をもとに、現在の位置に再建されました。松平定信の書で「多摩川に さらす手づくり さらにさらに なにそこの児のここだ愛しき」という万葉の歌が刻まれており、東京都の旧跡に指定されています。200年以上前から今日まで継承されているという歴史的価値を評価し、『万葉をしのぶ乙女像「たまがわ」』と併せて選定しています。

受賞者：万葉名歌 玉川碑に集う会

推薦者：石川 英夫 さん

山本 八郎 さん